

寫眞1. 兼山發電所、右岸上流より見たる堰堤工事附近狀況(昭和14. 12. 31)

(1)豫定堰堤型狀 (2) 工事用假橋 (3) 堰堤縱締切混凝土 (4) 上流第二次締切混凝土 (5) 現堤假混

兼山水力發電所の概要

日本發送電株式會社 參事 石川 榮 次 郎
 中部水力建設事務所 長

1. 計畫の大要

本計畫は木曾川最下流の地點を開發するものにして、飛驒川との合流點より上流約6軒岐阜縣可兒郡兼山町及加茂郡和知村地内に於て木曾川を横斷して堰堤を築造し、右岸に取水口を設け、三條の水壓管を経て發電所に導き放水路隧道を経て本流に還流せしむるものとす。

す。

2. 水利關係大要

位 置	岐阜縣加茂郡和知村大字和知字針田(右岸)
	岐阜縣可兒郡兼山町字戸立 左岸)
使用水量	最大使用水量 200立方メートル毎秒
	常時使用水量 37立方メートル毎秒



合工場(6)堰堤排水路掘鑿 (7)掘鑿略々完了せる排水路 (8)放水路締切混凝土 (9)取水口掘鑿

有効落差 22米(73尺)
 發電力 3萬7100キロワット
 年發生電力量 1億7800萬キロワット時
 三浦貯水池完成後 1億8100萬キロワット時
 流域面積 2,452平方呎(159方里)

3. 水路工作物大要

調整池
 湛水亘長 6呎7

湛水面積 111萬平方米(112町步)
 湛水量 860萬立方米(3億1000萬立方尺)
 有効貯水量 (利用水深3米) 293萬立方米
 (1億50萬立方尺)

堰 堤
 構造 混凝土造
 型式 重力式直線型
 高さ 基礎岩盤より満水面迄28米5

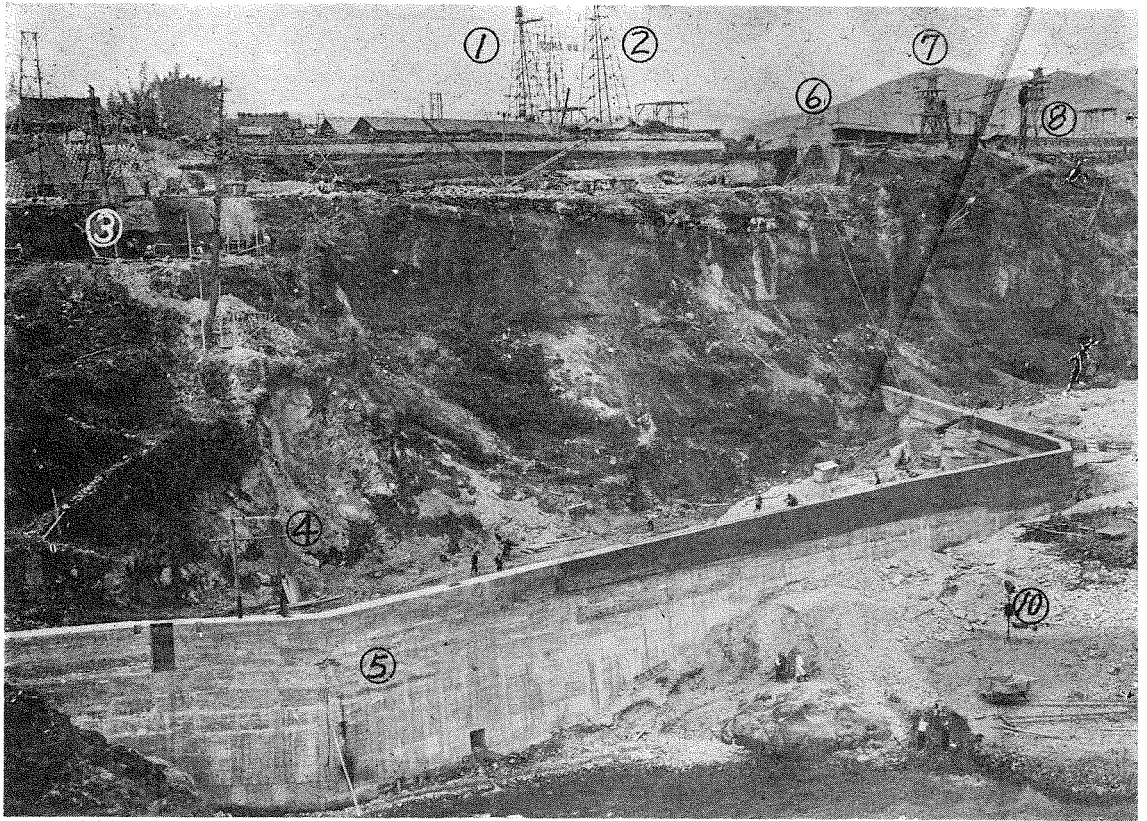
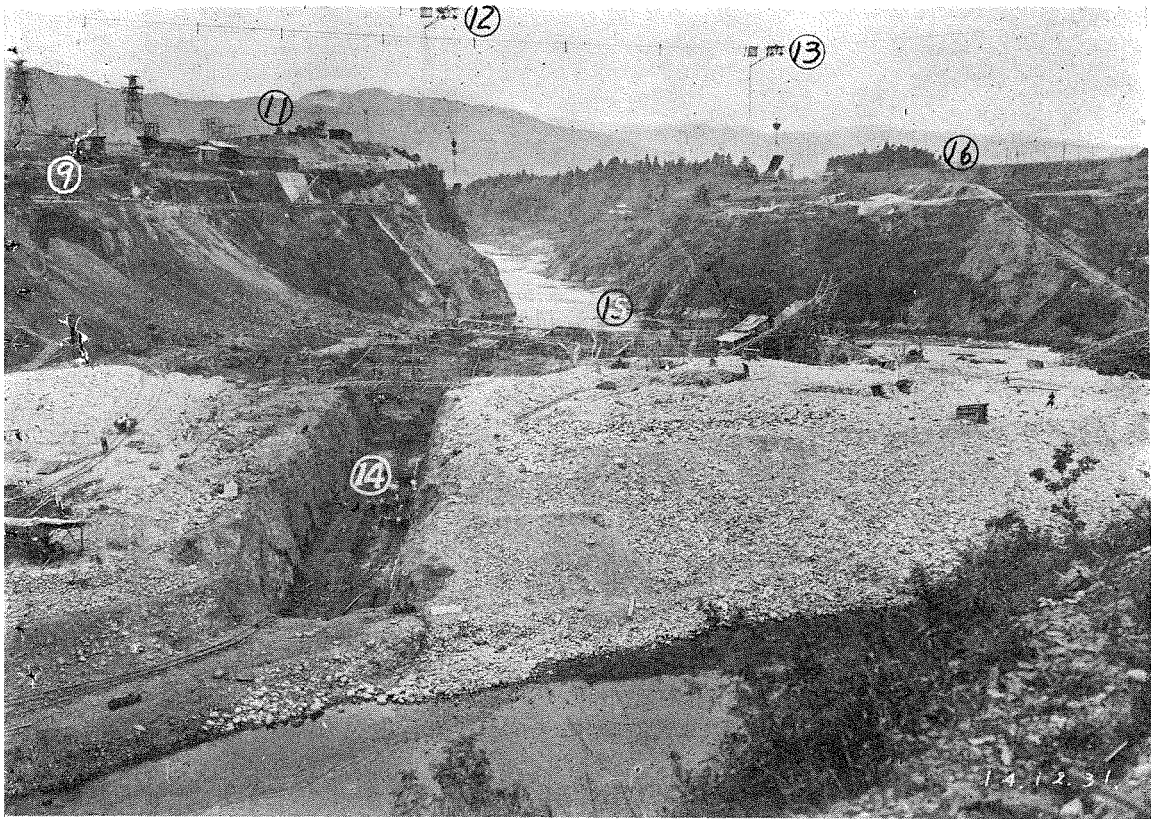


写真2. 兼山発電所、右岸上流より見たる工事場附近の状況(昭和14. 12. 31)

(1)堰堤六噸ケーブル(2)堰堤拾噸ケーブル(3)上部土砂掘鑿完了せる発電所個所(4)放水路掘
(10)工事用三噸ケーブル(11)上流右岸土捨場(12)堰堤拾噸ケーブル(13)堰堤六噸ケーブル

敷 幅 水叩きを含み43米
 堤 長 溢流堤長 199米
 門 扉 幅11米、高さ9米、14門
 混凝土容積 10萬4000立方米(1萬7310立
 坪)
 取 水 口
 構 造 混凝土造
 最大水深 7米5

全 幅 39米
 制 水 門 高さ7米5、幅10米テンターゲ
 ート3門
 水 壓 管
 構 造 鐵筋混凝土及鐵管
 内 徑 5米75圓型
 亘 長 第1號、115米
 第2號 91米



整(5)完了せる放水路假締切混凝土(6)混合工堤(7)砂、砂利索道(8)砂利置場(9)取水口掘整
 (14)排水路(15)上流混凝土締切(16)上流左岸土捨場

第3號 66米

延人員 100萬人

4. 全工事に對する數量(概定)

工事用動力 1000キロワット

掘 鑿 3 萬立方米(5 萬立坪)

751萬キロワット時

混 凝 土 16萬8000立方米(2 萬8000立坪)

(以 上)

金 物 4500廳(土木工用)

金 物 4500廳(電氣工用)

セメント 84萬袋